キュウリエソの高度利用技術開発研究（漁具開発試験）

（健康食品産業創出プロジェクト）

曽田一志・村山達朗

1．研究目的

「健康食品産業創出プロジェクト」により、有望視されている素材「キュウリエソ」の漁獲可能性の実証試験を行い、原料供給及び漁業経営の可否を判定することを目的とした。

2．研究方法

漁法はかけまわし漁法とし、試験操業は小型底びき網漁業（第１種機船手繰網漁業）の㈲忠栄丸（第６忠栄丸 14 トン平田市漁協）に委託した。漁具は㈱カスミに発注したキュウリエソ用漁具を使用した。

試験は 2004 年５月 17 日から同月 28 日の間に行い、適宜漁具の調整等を行いながら延べ 23 回の操業を行った。また、出漁中は水産試験場の試験船 明風（ 41 トン）も同行し、海洋観測を行いながら、忠栄丸とほぼ同等の漁具を使用しての中層トロールによる漁獲試験を行い、情報の提供及び交換を行った。

3．研究結果

試験操業の結果を表１に示す。漁獲されたキュウリエソは１回の操業当り最高で 20 ㎏、操業期間中合計 35 ㎏であった。また明風では１回の操業当り最高で 75 ㎏、合計で 120 ㎏であった。

混獲された魚種としてはニギスがもっとも多く、試験後半ではコッド前半にニギス分離網（ 12 節）を入れたが、ニギスの入網が多いと分離網の網目が詰まり機能しなかった。

漁獲されたキュウリエソはいずれもほぼ全長５㎝前後の大型のものが主体で、それ以下のものは漁獲されなかった。またキュウリエソは漁獲されなかったが、袖網、コッドから濃厚なキュウリ臭だけが確認されることが度々あった。

本試験の結果、キュウリエソをかけまわし漁法により大量に漁獲することは困難であると判断された。

表１　忠栄丸のキュウリエソ漁獲試験結果　（単位：㎏／回）

魚種／重量（キロ）	5月18日	5月19日	5月20日	5月24日	5月25日	5月26日	5月27日	5月28日	合計
キュウリエソ	10	混じり	0	20	混じり	0	混じり	5	35
ニ ギ ス	45	大量	0	大量	大量	15	大量		
アンコウ	5	0	0	5	5	5	5	5	
雑　魚									

表２　明風のキュウリエソ漁獲試験結果　（単位：㎏／回）

魚種／重量（キロ）	5月18日	5月19日	5月25日	5月26日	5月27日	合　計
キュウリエソ	25	75	10	10	混じり	120
ニ ギ ス		50	10	10		70
ソウハチ		1				1
雑　魚			30	5	5	40